

乳幼児のコロナワクチン接種 専門家「丁寧さ重要」／保護者「不安と期待」

2022年11月6日長崎新聞

生後6カ月～4歳の乳幼児を対象にした新型コロナウイルスワクチンの接種が長崎県内でも11月上旬から各市町で順次始まる。専門家は「有効性は高い」とする一方、医療現場での混乱を懸念。保護者からは期待と不安の声が聞かれた。

乳幼児用ワクチンは米ファイザー製。5～11歳と、12歳以上用の同社製ワクチンは計2回で初回接種となるが、乳幼児用は計3回で初回接種完了となる。1回目から3週間後に2回目。さらに8週間以上経過後に3回目を打つ。有効成分の合計量(3回分)は5～11歳(2回分)の半分、12歳以上(同)の6分の1。

小児科医でワクチンに詳しい長崎大学病院の森内浩幸教授は現在流行中のオミクロン株に対する乳幼児用ワクチンの有効性について「発症予防と重症化予防のどちらにも期待できる。副反応は許容できる範囲」と話す。オミクロン株に置き換わった第6波以降、子どもへの感染も大幅に増加。結果的に重症例や死亡例も増え、「基礎疾患がある子どもや2歳未満は特に注意が必要」と接種を勧める立場だ。

厚生労働省が公表しているデータによると、3回接種後の発症予防効果は約73%。一方で1～3回接種後7日間に現れた副反応は、生後6カ月～1歳は▽発熱が約7%▽接種部の腫れが約4%▽機嫌が悪くなるケースが約5割▽食欲減退が約2割。2～4歳は▽発熱が約5%▽接種部の腫れが約3～6%▽頭痛が約5%▽ずきずきうずくような痛みが約3割—などとなっている。

森内教授は乳幼児への接種には「特に丁寧さが重要。打ち手はできるだけ小児科医が望ましい」とする。その一方で「乳幼児はほかのワクチン接種も多い上に風邪をひきやすい。接種のスケジュールが予定通りに進まないことも多いのではないかと懸念する。

また「保護者の不安は子どもに伝わる。かかりつけ医に相談し、納得してから受けることが大切」とも指摘。さらに「新型コロナによる医療逼迫(ひっばく)が原因で通常なら救える命が救えなかったケースもある。再び感染が拡大する前に受けてほしい」と話した。

今日のyoutube紹介下線をクリック

●東京で6264人、全国で6万6397人の感染確認 いずれも先週日曜日より増加

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2a7019f7d4ee54824b3af95536c84f186e6f4d55>

●新型コロナ2102人感染1人死亡 宮城 増加中

<https://news.yahoo.co.jp/articles/99f44858744fb85011c578df11aa3efc7435804f>

●新型コロナ 長野県内で新たに2888人が感染 日曜日発表では過去最多

<https://news.yahoo.co.jp/articles/44606e1f595ebe60e48f35968924822faf04f663>

●新型コロナウイルス 県内で1500人の感染確認《福島県11/6増加中》

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6d4d1d2a5ed44794917d7974440f56ec83760a87>

●新型コロナ静岡県内 今年9月下旬以来の2000人超、増加中

<https://news.yahoo.co.jp/articles/27f59fb93c535b3e9af277a7a9b2a444563fe9bb>

●驚愕！100人あたりの〇〇〇〇接種回数は日本が世界1位に！もっと違うことで世界1位になってほしいのだけれど

<https://www.youtube.com/watch?v=0Motkr9P3S8>

●緊急】早くコロナ禍を終わらせないと子供たちに重大な影響がでる可能性がある。

https://www.youtube.com/watch?v=b0G1_hAqeg

今日のPDF紹介下線をクリック

●[コロナ・インフル同時流行に備え 自治体、臨時外来など](#)

●[米欧でコロナ派生型「BQ.1」増加、アジアでは「XBB」](#)

●[新たなコロナ派生型BA.4.6やBQ.1.1、米欧でじわり拡大](#)